

農薬の登録等に係る農林水産大臣からの諮問について（報告）

農林水産大臣は、農薬取締法（昭和23年法律第82号。以下「法」という。）第39条第1項の規定に基づき、農薬の登録、変更の登録、再評価等について農業資材審議会の意見を聴かなければならないとされている。

今般、過酢酸、過酸化水素及び酢酸並びにジンプロピリダズを有効成分として含む農薬の登録、ジフルベンズロン及びビフェナゼートを含む農薬の変更の登録、キノクラミン（ACN）、フィプロニル、プレチラクロール及びプロパモカルブ塩酸塩を有効成分として含む農薬の再評価について、農林水産大臣から諮問を受けた。各農薬の概要は、別添に記載のとおりである。

「農薬の登録、変更登録等に係る農業資材審議会の審議の進め方」（平成30年9月14日農業資材審議会農薬分科会決定（最終改正：令和4年6月22日））に基づき、それぞれの農薬について、下記のとおり、部会において専門的な検討を行うこととする。

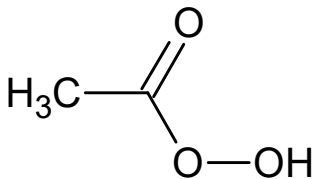
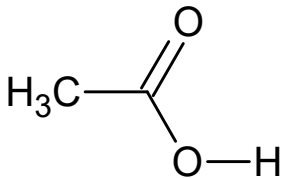
有効成分名	諮問理由	審議いただく部会
過酢酸、過酸化水素及び酢酸	登録	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会
ジンプロピリダズ	登録	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会
ジフルベンズロン	変更の登録	農薬原体部会
ビフェナゼート	変更の登録	農薬原体部会
キノクラミン（ACN）	再評価	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会
フィプロニル	再評価	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会
プレチラクロール	再評価	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会
プロパモカルブ塩酸塩	再評価	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会

過酢酸、過酸化水素及び酢酸

1. 今回の諮問の経緯

令和5年3月29日に、申請者から提出された農薬取締法第3条第1項に基づく登録の申請を受理

2. 審議農薬の概要

名称	過酢酸※ (ethaneperoxoic acid) 過酸化水素 (hydrogen peroxide) 酢酸 (ethanoic acid)	
構造式	過酢酸  過酸化水素 $\text{HO}-\text{OH}$ 酢酸 	
用途	殺菌剤	
作用機作	過酢酸及び過酸化水素による細胞内酵素のSH 基やS-S結合の損傷により酵素の失活、過酢酸及び酢酸との接触による細胞膜の破壊により細胞死が起きると考えられている。 (FRAC分類：未分類)	
登録状況	初回登録年	新規申請
	申請農薬数	1 (別紙1)
	適用作物	稲
	使用方法	種子浸漬
海外状況	JMPR	毒性評価なし
	国際基準	基準なし
	諸外国	米国：過酢酸として登録あり・基準不要 欧州：過酢酸として登録なし・基準なし 過酸化水素として登録なし・基準不要 酢酸として登録あり・基準不要

国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果 添加物として	2017
	厚生労働省 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会	2023
	環境省 水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準 水質汚濁に係る農薬登録基準	なし なし

※：過酢酸は過酸化水素及び酢酸の共存下で生成され、液体中では過酸化水素、過酢酸及び酢酸が平衡状態で存在している。

FRAC：殺菌剤抵抗性対策委員会

JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

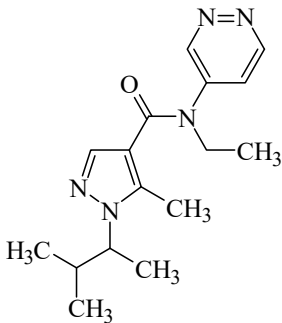
JECFA：FAO/WHO 合同食品添加物専門家委員会

ジンプロピリダズ

1. 今回の諮問の経緯

令和5年4月27日に、申請者から提出された農薬取締法第3条第1項に基づく登録の申請を受理

2. 審議農薬の概要

名称	ジンプロピリダズ (dimpropyridaz)	
構造式		
用途	殺虫剤	
作用機作	昆虫類及び甲殻類の感覚器官である弦音器官の一過性受容体電位バニロイドチャネルの上流部分のシグナル伝達をブロックすることにより、害虫は摂食行動などに支障をきたし、最終的に死亡すると考えられている。 (IRAC分類：36)	
登録状況	初回登録年	新規申請
	申請農薬数	1 (別紙2)
	適用作物	果樹、野菜、茶等
	使用方法	散布、灌注等
海外状況	JMPR	毒性評価なし
	国際基準	基準なし
	諸外国	米国：登録なし・基準なし 欧州：登録なし・基準なし
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果	なし
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告	なし
	環境省 水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準	なし
	水質汚濁に係る農薬登録基準	なし

IRAC：殺虫剤抵抗性対策委員会

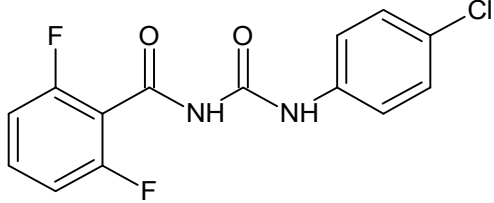
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

ジフルベンズロン

1. 今回の諮問の経緯

令和5年2月28日に、申請者から提出された農薬取締法第7条第1項に基づく変更の登録の申請（同法第3条第2項第11号に掲げる事項の変更）を受理

2. 審議農薬の概要

名称	ジフルベンズロン (diflubenzuron)	
構造式		
用途	殺虫剤	
作用機作	幼虫の脱皮時に急速に活発化する表皮のキチン質合成機能を阻害し、表皮を異常にすることにより殺虫効果を示すと考えられている。 （IRAC分類：15）	
登録状況	初回登録年	1981年
	申請農薬数	1（別紙3）
	適用作物	果樹、野菜、茶等
	使用方法	散布、株元灌注等
海外状況	JMPR	評価あり（2001）
	国際基準	基準あり
	諸外国	米国：登録・基準あり 欧州：登録・基準なし
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果	2015
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告	2018
	環境省 水産動植物被害防止に係る農薬登録基準	2010
	環境省 水質汚濁に係る農薬登録基準	2019

IRAC：殺虫剤抵抗性対策委員会

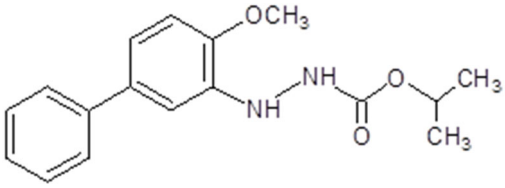
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

ビフェナゼート

1. 今回の諮問の経緯

令和5年8月7日に、申請者から提出された農薬取締法第7条第1項に基づく変更の登録の申請（同法第3条第2項第11号に掲げる事項の変更）を受理

2. 審議農薬の概要

名称	ビフェナゼート (bifenazate)	
構造式		
用途	殺虫剤	
作用機作	ヒドラジン骨格を有する殺ダニ剤で、ハダニやサビダニに対し選択的に活性を示す。ミトコンドリア電子伝達系複合体Ⅲを阻害することにより効果を示すと考えられている。 （IRAC分類：20D）	
登録状況	初回登録年	2000年
	申請農薬数	1（別紙4）
	適用作物	果樹、野菜、茶等
	使用方法	散布
海外状況	JMPR	評価あり（2006）
	国際基準	基準あり
	諸外国	米国：登録・基準あり 欧州：登録・基準あり
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果	2018
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告	2019
	環境省 水産動植物被害防止に係る農薬登録基準	2011
	水質汚濁に係る農薬登録基準	2012

IRAC：殺虫剤抵抗性対策委員会

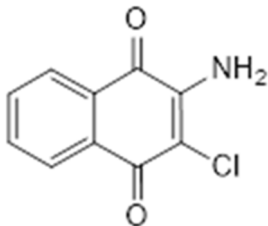
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

キノクラミン（A C N）

1. 今回の諮問の経緯

令和4年12月16日に、再評価を受けるべき者から提出された農薬取締法第8条第3項に基づく試験成績等を受理

2. 審議農薬の概要

名称	キノクラミン（quinoclamine）	
構造式		
用途	除草剤	
作用機作	主に光合成反応系Ⅰを阻害し、また光合成反応系Ⅱ及び光リン酸化反応も阻害するため速効的に効果が発現する。主に茎葉部に接触及び吸収され、明条件下で光増感物質の蓄積により過酸化効果が引き起こされ、葉緑素を破壊し、生育阻害をもたらす。過酸化効果はプロトポルフィリンⅨの蓄積がほとんどみられず、それ以外の光増感物質の蓄積で引き起こされるものと推察されている。 （HRAC分類：O）	
登録状況	初回登録年	1968年
	登録農薬数	7（別紙5）
	適用作物	稲、野菜、芝等
	使用方法	散布、無人航空機による散布等
海外状況	JMPR	毒性評価なし
	国際基準	基準なし
	諸外国	米国：登録なし・基準なし 欧州：登録なし・基準なし
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果	2013
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告	2014
	環境省 水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準	2009
	水質汚濁に係る農薬登録基準	2014

HRAC：除草剤抵抗性対策委員会

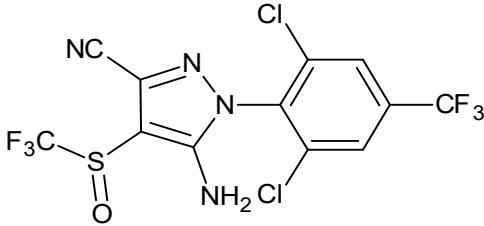
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

フィプロニル

1. 今回の諮問の経緯

令和4年12月21日～12月27日に、再評価を受けるべき者から提出された農薬取締法第8条第3項に基づく試験成績等を受理

2. 審議農薬の概要

名称	フィプロニル (fipronil)	
構造式		
用途	殺虫剤	
作用機作	昆虫において抑制性神経伝達物質とされるGABA (γ-amino butyric acid)による神経伝達を阻害する。通常GABA受容体にGABAが結合すると塩素イオンチャンネルが開くことで神経伝達が行われるが、フィプロニル存在下にはこれら作用が阻害される。 (IRAC分類：2B)	
登録状況	初回登録年	1996年
	登録農薬数	39 (別紙6)
	適用作物	稲、野菜、芝
	使用方法	育苗箱処理、散布、土壌混和等
海外状況	JMPR	評価あり (2021)
	国際基準	基準あり
	諸外国	米国：登録あり・基準あり 欧州：登録なし・基準あり
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果	2016
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告	2017
	環境省 水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準	2017
	環境省 水質汚濁に係る農薬登録基準	2018

IRAC：殺虫剤抵抗性対策委員会

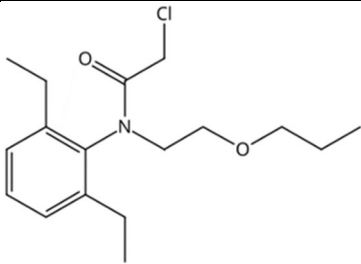
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

プレチラクロール

1. 今回の諮問の経緯

令和4年12月27日～12月28日に、再評価を受けるべき者から提出された農薬取締法第8条第3項に基づく試験成績等を受理

2. 審議農薬の概要

名称	プレチラクロール (pretilachlor)		
構造式			
用途	除草剤		
作用機作	非ホルモン型吸収移行性の除草剤であり、植物の脂質生合成系の中でC₂₀以上の超長鎖脂肪酸生合成系酵素を阻害し、雑草に対して主に幼芽部の伸長を抑制し増殖を抑え枯死させることにより除草活性を有する。 (HRAC分類：15)		
登録状況	初回登録年	1984年	
	登録農薬数	44（別紙7）	
	適用作物	稲、いぐさ	
	使用方法	湛水散布等	
海外状況	JMPR	毒性評価なし	
	国際基準	基準なし	
	諸外国	米国：登録なし・基準なし 欧州：登録なし・基準なし	
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果		2008
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告		2009
	環境省 水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準		2012
	水質汚濁に係る農薬登録基準		2010

HRAC：除草剤抵抗性対策委員会

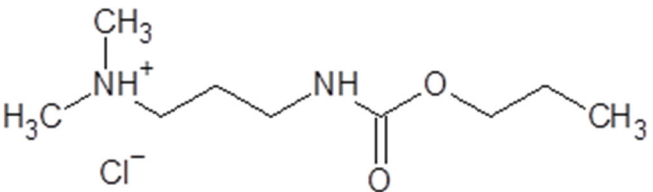
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

プロパモカルブ塩酸塩

1. 今回の諮問の経緯

令和4年12月16日～12月23日に、再評価を受けるべき者から提出された農薬取締法第8条第3項に基づく試験成績等を受理

2. 審議農薬の概要

名称	プロパモカルブ塩酸塩 (propamocarb hydrochloride)	
構造式		
用途	殺菌剤	
作用機作	細胞膜のリン脂質および脂肪酸の生合成を阻害することにより病原菌の菌糸細胞膜の形成を阻害し、細胞内容物の漏出を引き起こすことで効果を発揮すると考えられている。 (FRAC分類：28)	
登録状況	初回登録年	1989年
	登録農薬数	4（別紙8）
	適用作物	野菜、芝、たばこ等
	使用方法	散布、土壌灌注等
海外状況	JMPR	評価あり（2005）
	国際基準	基準あり
	諸外国	米国：登録あり・基準あり 欧州：登録あり・基準あり
国内評価状況	食品安全委員会 食品健康影響評価結果	2014
	厚生労働省 農薬・動物用医薬品部会報告	2014
	環境省 水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準	2010
	水質汚濁に係る農薬登録基準	2012

FRAC：殺菌剤抵抗性対策委員会

JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議

過酸化水素、過酢酸及び酢酸を有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
－	スゴイ酢液剤

ジンプロピリダズを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
-	エフィコン S L

ジフルベンズロンを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
16864	兼商デミリン水和剤

ビフェナゼートを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
20448	マイトコーネフロアブル

キノクラミン（ACN）を有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
9109	モゲトン粒剤
13870	キレダー
18806	モゲトンジャンボ
20603	アークエース粒剤
21835	アークエース 1 キロ粒剤
22655	クリアホープフロアブル
22656	兼商クリアホープフロアブル

フィプロニルを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
19231	日農フジワンプリンス粒剤
19546	日産オリゼメートプリンス粒剤
19561	日産ギャング粒剤
19571	ビームプリンス粒剤
20007	D r. オリゼプリンス粒剤 1 0
20008	ホクコーD r. オリゼプリンス粒剤 1 0
20011	ホクコーD r. オリゼプリンス粒剤 6
20234	ピカピカ粒剤
20281	プリンスリンバー箱粒剤
20711	ビルダープリンス粒剤
20712	ホクコービルダープリンス粒剤
21017	ビルダープリンスグレータム粒剤
21018	ホクコービルダープリンスグレータム粒剤
21052	ブイゲットプリンス粒剤 1 0
21839	プリンスベイト
22003	コメホープ箱粒剤
22010	ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤
22039	アプライプリンス粒剤 1 0
22360	ホクコーファーストオリゼプリンス粒剤 6
22548	ホクコーファーストオリゼプリンス粒剤 1 0
22549	ファーストオリゼプリンス粒剤 1 0
22760	B A S F プリンス粒剤
23256	日産ビームプリンスグレータム箱粒剤
23257	日産ビームプリンス粒剤
23382	プリンススピノ粒剤 6
23574	プリンススピノ粒剤 1 0
23595	ホクコーD r. オリゼプリンススピノ粒剤 6
23596	D r. オリゼプリンススピノ粒剤 6
23597	ホクコーD r. オリゼプリンススピノ粒剤 1 0
23736	ホクコーファーストオリゼプリンススピノ粒剤 6
23737	ファーストオリゼプリンススピノ粒剤 6
23738	ホクコーファーストオリゼプリンススピノ粒剤 1 0
23937	プリンスアクティブ粒剤
23970	トップチョイスフロアブル
24011	ホクコープリンス粒剤
24027	ハコナイト粒剤
24030	日産プリンス粒剤
24365	ホクコープリンススピノ粒剤 6

登録番号	農薬の名称
24458	コルテバ プリンススピノ粒剤 6

プレチラクロールを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
15986	石原ワンオール粒剤
16664	クサホープD粒剤
16669	バレージ粒剤
18163	エリジャン乳剤
18225	スパークスター粒剤
18541	シング乳剤
18567	ソルネット1キロ粒剤
18677	ウリホス粒剤15
18678	ウリホス粒剤15
18680	ウリホス粒剤10
18717	ホクコーユニハーブフロアブル
18897	石原ワンオールS1キロ粒剤
18913	パデホープ1キロ粒剤
18914	SDSパデホープ1キロ粒剤
19214	ホクト粒剤
19749	ウリホス1キロ粒剤
20292	ウリホスフロアブル
20656	ウリホスジャンボ
20846	シンジェンタ・ホクト粒剤
20963	エリジャンジャンボ
21299	クサトッタ1キロ粒剤
21300	クサトッタ粒剤
21587	協友農将軍フロアブル
21616	協友バレージ粒剤
21723	STバレージ粒剤
22138	エリジャンEW乳剤
22142	クサナイト粒剤
22421	MICスラッシャ粒剤
22459	MICスラッシャ1キロ粒剤
22680	ホクサンシング乳剤
22693	アピロトップMX1キロ粒剤75
22694	マキシーMX1キロ粒剤
23011	アピロトップMXジャンボ
23012	アピロトップMX L ジャンボ
23326	葉がくれ1キロ粒剤
23327	かねつぐ1キロ粒剤
23439	ロータスMX1キロ粒剤

登録番号	農薬の名称
23440	ロータスMX ジャンボ
23452	アピログロウMX 1 キロ粒剤
23453	アピログロウMX ジャンボ
23588	かねつぐーラジカルジャンボ
23613	OATシェリフ 1 キロ粒剤
24361	アピログロウMX エアー粒剤
24651	メガオスMX 1 キロ粒剤

プロパモカルブ塩酸塩を有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
17197	プレビクールN液剤
17198	日曹プレビクールN液剤
21945	ターフシャワー
22098	リライアブルフロアブル